



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社明電舎 上場取引所 東・名
コード番号 6508 URL <https://www.meidensha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 井上 晃夫
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート コミュニケーション推進部長 (氏名) 笹本 紋子 (TEL) 03-6420-8100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	73,412	25.7	4,664	—	5,452	850.7	5,059	986.6
2026年3月期第1四半期	58,390	6.2	348	—	573	168.2	465	△54.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 7,455百万円(237.6%) 2026年3月期第1四半期 2,208百万円(13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	111.53	—
2026年3月期第1四半期	10.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	361,068	180,920	49.1
2026年3月期	373,668	178,531	46.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 177,315百万円 2026年3月期 174,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	47.00	—	110.00	157.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	155,000	18.2	8,000	186.5	8,500	167.8	7,000	245.4	154.31
通期	365,000	11.9	33,000	21.7	33,500	20.1	25,000	5.8	551.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 明電アクアビジネス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	45,527,540株	2026年3月期	45,527,540株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	163,742株	2026年3月期	163,577株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	45,363,919株	2026年3月期1Q	45,365,219株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境としては、当社の関連する市場においては、国内外で電力需要の増加や電力インフラの更新サイクルの進展を背景に、送配電設備の増強・更新、防災・レジリエンス強化及び脱炭素化関連投資が底堅く推移しました。また、データセンターの新増設や環境規制強化を背景としたSF6ガス不使用製品への移行も進展し、事業環境は総じて良好に推移しております。一方で、米国の通商政策や中東地域を巡る地政学リスクの高まりに加え、エネルギー価格及び原材料価格の高騰が継続しており、世界経済や企業の投資動向への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。そのような環境下においても、当社は生産効率の向上やサプライチェーンの強靱化を図り、生産体制の維持・強化に向けた取り組みを継続しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期累計期間	2027年3月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	58,390	73,412	15,021	25.7
営業利益	348	4,664	4,315	—
経常利益	573	5,452	4,878	850.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	465	5,059	4,593	986.6

各事業分野における営業活動のセグメント別の状況は次のとおりです。売上高につきましては、セグメント間の取引を含んでおります。

① 電力インフラ事業セグメント

海外を主体とする変電事業では、アメリカの需要の伸びとインド大型プロジェクトの進捗により増収増益となりました。また、国内を主体とする電力エネルギー事業も、電力会社向けの案件が順調に進捗したことで、増収増益となりました。その結果、売上高は前年同期比39.9%増の27,574百万円、営業利益は2,283百万円改善の3,941百万円となりました。

② 社会システム事業セグメント

社会システム事業、電鉄システム事業及び水インフラ事業では、大型案件や工事進行基準案件が寄与し、いずれも増収増益となりました。その結果、売上高は前年同期比33.5%増の20,124百万円、営業利益は2,273百万円改善の354百万円となりました。

③ 産業電子モビリティ事業セグメント

EV事業では、一部納入車種の販売時期のずれにより減産となり減収減益となりました。また、電動カソリューション事業は、一部市場の低調な市況や工期遅れがありましたが、売上高はほぼ前年並みで利益は減少しました。一方、電子機器事業は、半導体関連市場の回復を背景に受注が増加し、増収増益となりました。モビリティT&S事業では、既受注案件の進捗により増収となったものの、売上計上案件の進捗段階の違いによる採算性の差から、利益はほぼ前年並みとなりました。その結果、売上高は前年同期比13.3%増の17,423百万円、営業利益は184百万円改善の162百万円となりました。

④ フィールドエンジニアリング事業セグメント

設備の保守・点検や更新需要が引き続き堅調に推移するとともに、工事進行基準案件の進捗により増収となりました。一方で、利益面では前年同期と比較して売上計上の案件の構成が変化したことなどにより営業利益は微減となりました。売上高は前年同期比7.0%増の9,267百万円、営業利益は96百万円悪化の917百万円となりました。

⑤ 不動産事業セグメント

売上高は前年同期比0.2%増の811百万円、営業利益は27百万円悪化の354百万円となりました。

⑥ その他

報告セグメントに含まれない事業において、売上高は前年同期比11.1%減の1,807百万円、営業損失は79百万円悪化の48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」）比12,599百万円減少し、361,068百万円となりました。

流動資産は、前期末に計上した受取手形、売掛金及び契約資産の回収が進み、前期末比16,446百万円減少し223,824百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物の増加、保有する上場株式の市場価値上昇に伴う投資有価証券の増加により、前期末比3,846百万円増加の137,243百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少により、前期末比14,988百万円減少し180,147百万円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金の増加により、前期末比2,389百万円増加の180,920百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の46.8%から49.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、EV事業における新車種投入の遅れが懸念される一方で、電力インフラ事業の旺盛な需要や社会システム事業の工事進捗案件進捗及び収益性の改善が引き続き見込まれます。そのため、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表値から増加する見込みであります。

現時点での2027年3月期の業績見通しは、以下のとおりとなっております。

2027年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想（A）	148,000	4,000	4,000	2,800	61.72
今回修正予想（B）	155,000	8,000	8,500	7,000	154.31
増減額（B－A）	7,000	4,000	4,500	4,200	—
増減率（％）	4.7	100.0	112.5	150.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	131,142	2,792	3,174	2,026	44.68

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想（A）	355,000	29,000	29,000	22,000	484.96
今回修正予想（B）	365,000	33,000	33,500	25,000	551.10
増減額（B－A）	10,000	4,000	4,500	3,000	—
増減率（％）	2.8	13.8	15.5	13.6	—
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	326,194	27,122	27,889	23,625	520.78

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,826	47,045
受取手形、売掛金及び契約資産	121,733	81,375
電子記録債権	7,865	9,261
商品及び製品	10,197	10,350
仕掛品	45,690	51,149
原材料及び貯蔵品	13,811	15,447
その他	9,695	9,745
貸倒引当金	△548	△550
流動資産合計	240,271	223,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,172	41,198
機械装置及び運搬具(純額)	14,074	14,047
土地	11,959	11,961
建設仮勘定	5,584	6,132
その他(純額)	5,780	5,961
有形固定資産合計	75,571	79,301
無形固定資産		
ソフトウェア	4,523	4,373
のれん	775	616
その他	515	490
無形固定資産合計	5,815	5,481
投資その他の資産		
投資有価証券	36,928	39,192
長期貸付金	34	34
繰延税金資産	11,425	9,374
その他	3,648	3,883
貸倒引当金	△27	△23
投資その他の資産合計	52,009	52,461
固定資産合計	133,396	137,243
資産合計	373,668	361,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,556	27,979
電子記録債務	4,664	5,015
短期借入金	16,340	16,256
コマーシャル・ペーパー	5,000	-
未払金	3,502	3,565
未払法人税等	6,343	2,072
契約負債	23,294	28,801
賞与引当金	10,332	5,160
製品保証引当金	2,666	2,513
受注損失引当金	531	514
その他	20,156	19,615
流動負債合計	126,388	111,494
固定負債		
長期借入金	23,064	22,613
退職給付に係る負債	40,807	41,163
環境対策引当金	32	29
その他	4,844	4,847
固定負債合計	68,747	68,653
負債合計	195,136	180,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,070	17,070
資本剰余金	10,140	10,140
利益剰余金	110,774	110,843
自己株式	△210	△212
株主資本合計	137,774	137,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,480	22,164
為替換算調整勘定	10,810	11,538
退職給付に係る調整累計額	5,823	5,770
その他の包括利益累計額合計	37,114	39,473
非支配株主持分	3,642	3,605
純資産合計	178,531	180,920
負債純資産合計	373,668	361,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	58,390	73,412
売上原価	43,139	51,657
売上総利益	15,251	21,755
販売費及び一般管理費	14,902	17,090
営業利益	348	4,664
営業外収益		
受取利息	75	63
受取配当金	497	605
受取賃貸料	21	21
為替差益	-	201
その他	173	271
営業外収益合計	768	1,163
営業外費用		
支払利息	217	266
為替差損	195	-
出向者関係費	22	12
その他	108	97
営業外費用合計	543	375
経常利益	573	5,452
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,597
特別利益合計	-	1,597
特別損失		
固定資産除却損	-	46
関係会社整理損	8	-
特別損失合計	8	46
税金等調整前四半期純利益	565	7,002
法人税、住民税及び事業税	254	571
法人税等調整額	△163	1,333
法人税等合計	90	1,904
四半期純利益	474	5,098
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	465	5,059

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	474	5,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,602	1,683
為替換算調整勘定	80	727
退職給付に係る調整額	51	△52
その他の包括利益合計	1,734	2,357
四半期包括利益	2,208	7,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,193	7,417
非支配株主に係る四半期包括利益	15	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	565	7,002
減価償却費	2,497	2,687
のれん償却額	155	151
引当金の増減額 (△は減少)	△5,050	△5,373
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	493	279
受取利息及び受取配当金	△573	△669
支払利息	217	266
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1,597
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	46,684	44,666
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,015	△6,874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,982	△4,071
その他	△2,630	△1,543
小計	26,361	34,922
利息及び配当金の受取額	580	677
利息の支払額	△167	△180
法人税等の支払額	△3,503	△4,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,270	30,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,691	△6,735
投資有価証券の売却による収入	-	1,791
その他	△1,959	△949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,650	△5,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	906	△240
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△6,000	△5,000
長期借入金の返済による支出	△421	△494
配当金の支払額	△3,599	△4,554
非支配株主への配当金の支払額	△58	△74
その他	△111	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,283	△10,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	166	242
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,503	14,571
現金及び現金同等物の期首残高	29,091	23,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,594	38,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった明電アクアビジネス株式会社は、当社の連結子会社である明電ファシリティサービス株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社等の収益及び費用は、従来、当該在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増していること、また、近年の著しい為替相場の変動を勘案した結果、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電力イン フラ事業	社会シス テム事業	産業電子 モビリ ティ事業	フィール ドエンジ ニアリン グ事業	不動産 事業	小計				
売上高										
外部顧客への売上高	19,521	14,130	15,158	7,927	799	57,537	853	58,390	—	58,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	194	940	220	731	9	2,096	1,180	3,277	(3,277)	—
計	19,715	15,070	15,378	8,659	809	59,634	2,033	61,667	(3,277)	58,390
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,658	△1,919	△22	1,014	381	1,112	30	1,143	(794)	348

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△794百万円には、セグメント間取引消去95百万円、棚卸資産の調整額72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△962百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であり
ます。
3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電力イン フラ事業	社会シス テム事業	産業電子 モビリ ティ事業	フィール ドエンジ ニアリン グ事業	不動産 事業	小計				
売上高										
外部顧客への売上高	27,487	18,975	17,190	8,302	801	72,756	655	73,412	—	73,412
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87	1,149	232	965	9	2,444	1,151	3,596	(3,596)	—
計	27,574	20,124	17,423	9,267	811	75,201	1,807	77,008	(3,596)	73,412
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,941	354	162	917	354	5,729	△48	5,680	(1,016)	4,664

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,016百万円には、セグメント間取引消去107百万円、棚卸資産の調整額48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,172百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であり
ます。
3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった明電アクアビジネス株式会社は、当社の連結子会社である明電ファシリティサービス株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、前連結会計年度まで「社会システム事業」に含まれておりました同社の事業は、当第1四半期連結会計期間より「フィールドエンジニアリング事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、売上高及びセグメント利益に対する影響が軽微であるため、変更後の区分に基づき作成しておりません。